



1 令和3年(2021年)は 文化の力で 和歌山を元気に!

紀の国わかやま文化祭2021
(第36回国民文化祭・わかやま2021、
第21回全国障害者芸術・文化祭
わかやま大会)
—山青し 海青し 文化は輝く—



和歌山県企画部 紀の国わかやま文化祭 担当参事

岡 哲司

1. 全国最大の文化の祭典 和歌山で開催!

いよいよ来年秋、「第36回国民文化祭・わかやま2021」「第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会」を一体的に開催します。その大会の愛称が「紀の国わかやま文化祭2021」です。

国民文化祭は、全国各地で様々な文化活動をしている皆さんが活動発表したり、地域の文化や魅力を発信する事業を展開することで、芸術・文化活動への関心を高め、文化の継承、発展、創造につなげ、その振興を図るために、毎年開催されている全国規模の芸術・文化の祭典。

全国障害者芸術・文化祭は、障害のある人たちの芸術及び文化活動の成果発表の場。多くの障害のある人たちに芸術・文化の素晴らしさを体験していただくとともに、芸術・文化を通じた交流により障害の有無に関わらず互いに尊重しあう社会の形成を目指して開催される障害のある人が主役の芸術・文化の祭典です。

両大会は、各都道府県持ち回りで開催され、今回、和歌山県で初の開催となります。

「山青し 海青し 文化は輝く」を大会キャッチフレーズに、令和3年(2021年)10月30



文化祭公式ポスター

日から11月21日までの23日間、県内全域で130を超える文化事業を展開します。まさに和歌山県が芸術・文化一色に包まれる23日間となります。

2. 県内各地で様々な芸術・文化事業を展開

(1) 開会式

文化祭初日(10月30日)には、全国から多くのお客様もお迎えして、和歌山ビッグホールで開会式を盛大に開催します。

県民挙げて、おもてなしあふれる和歌山らしい開会式にするべく企画を進めています。



開会式イメージ

(2) 県主催事業

県主催事業として、和歌山の食文化と芸能をテーマにしたイベント、世界遺産、高野山でのシンポジウム、熊野を舞台とした音楽祭など和歌山の魅力を発信する事業を実施します。また、障害のある人の美術作品展、楽器演奏と講演をはじめ、障害のある人とない人とも互いに交流し、一緒に芸術・文化を楽しめる様々な事業を実施します。



障害者作品展



創作子どもミュージカル



民謡・民舞の祭典

(3) 市町村・団体主催事業

文化祭期間中全域で、市町村や文化団体等の主催で様々な芸術・文化の魅力をお伝えする事業を実施します。皆さんのすぐ近くでも実施されます。ぜひ、ご参加ください。

3. 「紀の国わかやま文化祭 2021」の目指すもの

「紀の国わかやま文化祭 2021」には、県内はもちろんのこと県外からも多くの方が参加されます。来県された方々には、文化祭事業はもちろんのこと、県内各地の素晴らしい自然や歴史、おいしい食べ物、温かい温泉と人情等に触れていただき、地域の人々との交流を通して、和歌山県の魅力を堪能していただきたいと思えます。

また、県民の皆さんには、この文化祭を機に、県内で活躍されている様々な文化団体の活躍を観て、聴いて、体験していただきたい。そして、県内の芸術・文化活動の輪を大きく広げ、心豊かな和歌山県を創っていきます。

4. 文化祭開催機運の醸成

文化祭をしっかりと盛り上げていくために、「広報キャラバン隊」や県内文化団体の皆さんによる「盛り上げ隊」を結成して広報を展開しています。

文化祭のポスター 2021 枚を県内各地の店舗等に掲示する「ポスター 2021 プロジェクト」、子どもたちが折った折り鶴でいきちゃんの「折り鶴アート作品」を作り、各会場に飾って訪れる人をおもてなしする「折り鶴プロジェクト」、県内文化団体の皆さんで結成した「盛り上げ隊」



広報キャラバン隊出発式



折り鶴プロジェクトの様子

が県内の保育園、幼稚園、小中学校等を訪問し、文化活動の体験をしてもらう「出前体験プロジェクト」の三つのプロジェクトを進め、文化祭の機運を盛り上げていきます。

5. 県民総参加の文化祭

(1) ボランティアとして参加する

実行委員会の事務局だけでなく、県民の皆さんにも文化祭の情報発信をしていただこうと広報ボランティアを募集中です。マスメディアに加え、SNS や口コミで文化祭をより多くの方に知っていただき、みんなで盛り上げていきたいと思えます。

また、文化祭本番では、運営ボランティアとして多くの方に関わっていただき、おもてなしの心がこもった文化祭にしていきます。



広報ボランティア 広報グッズ

(2) 文化祭を応援する（応援企業制度）

企業の皆さんにもぜひこの文化祭を応援いただき、まさに官民一体となって県民総参加のイベントにしたいとの思いから、国民体育大会等の企業協賛でお願いしていた協賛金や物品による協賛だけでなく、文化祭の広報への協力やボランティア、イベントへの参加といった「協力事業」を通じて「紀の国わかやま文化祭2021」を応援いただく「応援企業制度」を「紀の国わかやま総文2021」「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」と合同で創設しました。

企業の皆様には、和歌山で開催される3大ビッグイベントをぜひ応援していただきますようよろしくお願いいたします。

(3) 文化祭を体験する

文化祭期間中は、県内各地で様々な芸術・文化活動が展開されます。ぜひ、この機会に御参加ください。全国から集まった作品の中にあなたの作品も・・・

また、「自分でするのはどうも・・・」という方も、ぜひ御観覧いただき、生で芸術・文化を体験してみてください。各会場では、あなたの来場をお待ちしています。

6. 新型コロナ感染症の中で

(1) 宮崎県との2県開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に宮崎県で開催予定の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が開催を1年延期、令和3年度は、初めての2回（2県）開催となりました。

同年開催となった宮崎県とは、広報活動での協力や互いの文化祭への出展等、協力しあって、今までにない素晴らしい文化祭にしようと相談しながら準備を進めています。



マスコットキャラクターの
「みやざき犬」と「きいちゃん」

(2) 事業内容の制限（ウイルス感染症対策）

新型コロナウイルス感染症の状況は予断を許しません。感染症対策には万全を期して、皆さんに安心して御参加いただける文化祭とするべく準備を進めています。市町村や文化団体の皆さんとしっかり相談しながら、いろんな制約があっても、芸術・文化のすばらしさをしっかり届けられるよう取り組んでいきます。

(3) 文化で和歌山を元気に！

歴史を振り返れば、どんなに苦しい時も私たちのすぐそばにあって、私たちを励まし、その困難を乗り越える力を与えてくれたのが芸術や文化でした。この感染症との闘いの中で、明日への希望に向けて、多くの方々に元気と勇気を届ける「紀の国わかやま文化祭2021」を県民の皆さんとともに創り上げていきます。

皆さんの応援、御協力をよろしく願いいたします。